

アンケートを手にする（左から）大貫、あらき
由美子、岩崎、白井、古谷やすひこの各議員



回答ズシリ8070通

共産党横浜市議団の市民アンケート

要望もとにすぐ要請

日本共産党横浜市議団
(大貫のり夫議長、5人)
が5月から実施している市
民アンケートの回答が25日
までに8070通になりました。
前回、行った市民アンケート(2010年)の
回答数約5000通を大きく上回っています。

アンケートは「市民のみなさんのご意見をお寄せ下さい」と書いて市内各戸に配布。「このようなアンケートは良い」(20代の女性)、「広く市民の意見を聞いてもらいたい」(80代以上の男性)と歓迎されています。

集計結果(4000通)では、歩道や生活道路の整備、街灯・防犯灯、災害時の避難所整備にたいする要望が集中しています。

「地域で改善してほしい

こと」を聞いた要望欄は、アンケートに答えた36.8%が記述。11.6%が、手書きの地図に詳しく説明を書き込んだりしています。

横浜で実施されていない中学校給食については、30代の79.5%、40代の67.8%が「小学校のような給食がいい」を選択。「給食は食育をすすめるうえでも大切」(40代の女性)など、市が進めるカジノ誘致について、「反対」が61.

9%と最も多く、「市民討議すべき」(17.5%)、「賛成」(10.6%)と続きました。

事業費630億円の新市庁舎建設計画に対する質問には、「反対」が56.9%を占めた一方で、「賛成」が13.6%、「わからない」が19.7%でした。

「安倍政権に恐怖」

アンケートでは、市政への要望とともに、国政についての書き込みも目立ちます。

岩崎ひろし市議(戸塚区)は、市民アンケートに

寄せられた地域要望について調査してまとめ、区役所に提出しました。

白井まさ子市議(港北区)は、鶴見川の土手で水飲み場やトイレを整備してほしいという要望を港北土木事務所に伝え、実現するよう求めました。

「歩道橋の手すりが低すぎ、足の不自由な標準身長の人が使えない」との声を受けて、高橋やすあき市議候補(磯子区)は現地を調査し、市に改善を求める

こと」を聞いた要望欄は、アンケートに答えた36.8%が記述。11.6%が、手書きの地図に詳しく説明を書き込んだりしています。

横浜で実施されていない中学校給食については、30代の79.5%、40代の67.8%が「小学校のような給食がいい」を選択。「給食は食育をすすめるうえでも大切」(40代の女性)など、市が進めるカジノ誘致について、「反対」が61.

9%と最も多く、「市民討議すべき」(17.5%)、「賛成」(10.6%)と続きました。

事業費630億円の新市庁舎建設計画に対する質問には、「反対」が56.9%を占めた一方で、「賛成」が13.6%、「わからない」が19.7%でした。

「安倍政権に恐怖」

アンケートでは、市政への要望とともに、国政についての書き込みも目立ちます。

岩崎ひろし市議(戸塚区)は、市民アンケートに